

科目名	保健・体育IV Health and Physical EducationIV			担当教員	有馬弘智・横山学		
学年	4年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	16220037	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはかる。						
進め方	それぞれの種目の基礎技術は下級生の時に修得しているので、ゲーム中心の内容で授業を行なう。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、選択制度を取り入れ、自分の興味ある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明および 選択種目の決定(1)  【ソフトボール・テニス選択】 2. ゲーム(12) 3. 実技試験(1)			年間計画を説明し、効率的にかつ安全に授業が行なえるようにする。 F2:1-4  ルールを把握した上で、自分たちで試合を運営できることを目指す。 F2:1-4, F3:1, 2			
	[前期中間試験]						
	【ゴルフ・バドミントン・卓球選択】 4. ゲーム（ゴルフは基本スイング）(12) 5. 実技試験(1)  【スポーツテスト】 6. 記録測定(3)			基礎技術を修得すると共に、ルールと理論を理解し、ゲームが行なえるようにする。 F2:1-4, F3:1, 2  毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す。 F1:1-4			
	前期末試験						
	7. 体育祭および練習(7)  【バレーボール・バスケットボール選択】 8. 選択授業の説明、種目の決定(1) 9. ゲーム(10)			1・2年時に基礎技術を修得しているので、ゲーム中心の内容で、チームの戦術の向上、審判技術の向上を目指す。 F2:1-4, F3:1-5			
	[後期中間試験]						
	10. 実技試験(1)  【サッカー・ゴルフ選択】 11. ゲーム(10) 12. 実技試験(1)			サッカーは、1・2年時に基礎技術を修得している ので、ゲーム中心の内容で、チームの戦術の向上、審判 技術の向上を目指す。またゴルフでは、バードゴルフ などを取り入れて実践的なことを体験する。 F2:1-4, F3:1, 2			
	後期末試験						
	評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。					
履修要件	特になし						
関連科目	特になし						
教材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版） 大修館書店						
備考	特になし						